

3相用ステッピングモータ用ドライバ

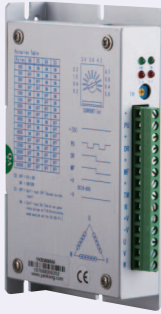
—適用機種: 5.8A以下 42-86シリーズ3相ハイブリッド式ステッピングモーター



Order
注文例

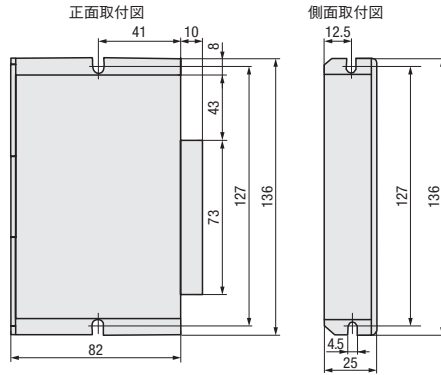
型式

DB3606MA

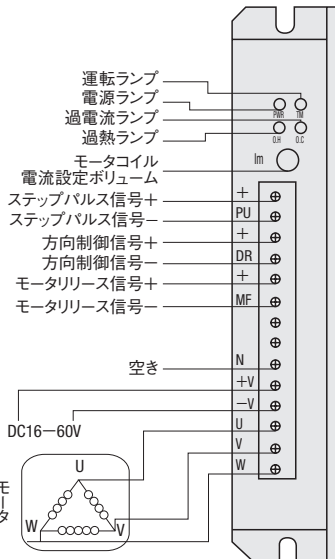


CAD 2D 3D

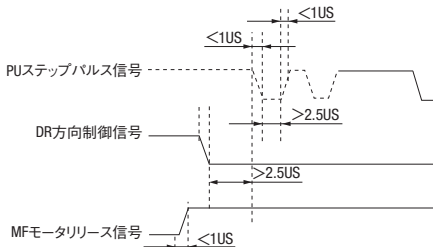
型式	電圧	駆動電流	分割	最高 応答周波数	コイル電流
DB3606MA	DC16~60V	0.2~5.8A/相 連続調整可能	16段 最大分解能 60000ステップ/回転	200Kpps	ステップパルス信号の停止時間が 100msを超えた場合は、自動的に半減する



■配線図



■入力信号波形タイムチャート



表示記号	名称	説明
PWR	電源ランプ	通電中はランプが点灯します。
TM	運転ランプ	ゼロ点信号が有効。パルスの連続入力がある場合は、緑色のランプが点灯します。
O.H	過熱ランプ	過熱の場合は赤いランプが点灯します。
O.C	過電流/ 低電圧ランプ	電流が高すぎる場合や電圧が低すぎる場合は赤いランプが点灯します。
Im	モータコイル電流 設定ボリューム	モータの電流を調整します。逆時計回りで小さく、時計回りで大きくなります。
+	ステップパルス信号 光電絶縁+側	+5Vの電源に接続し、+5V~+24Vで駆動可能。+5Vより高い場合は、PU側に限流抵抗を接続する必要があります。
PU	D2=0FFの場合は、 ステップパルス信号 になります D2=0Nの場合は、 +方向ステップパルス 信号になります。	立下がりエッジが有効で、パルスが低くなるたびにモータが1ステップ動きます。入力抵抗は220Ωで、Lレベルは0~0.5V、Hレベルは4~5V、パルス幅は $>2.5\mu\text{s}$ が必要です。
+	方向制御信号 光電絶縁+側	+5Vの電源に接続し、+5V~+24Vで駆動可能。+5Vより高い場合は、DR側に限流抵抗を接続する必要があります。
DR	D2=0FFの場合は、 方向制御信号になり ます。 D2=0Nの場合は、 一方方向ステップパルス 信号になります。	モータ回転方向を変更する場合に使用します。入力抵抗は220Ωで、Lレベルは0~0.5V、Hレベルは4~5V、パルス幅は $>2.5\mu\text{s}$ が必要です。
+	モータリリス信号 光電絶縁+側	+5Vの電源に接続し、+5V~+24Vで駆動可能。+5Vより高い場合は、限流抵抗を接続する必要があります。
MF	モータリリス信号 光電絶縁-側	有効(Lレベル)の時にモータコイルの電流を遮断します。ドライバは作動停止し、モータはフリー状態になります。
+V	電源の+極	DC16~60V
-V	電源の-極	
U	モータの結線	
V		
W		

◆注意:

- 電源を逆に接続しないでください。入力電圧はDC60V以下にしてください。
- 入力制御信号の電圧は5Vです。5Vより高い場合は、限流抵抗を接続する必要があります。詳細は「パルス入力信号の配線」をご参照ください。
- ドライバは温度が70°Cを超えると動作停止し、異常O.Hランプが点灯します。温度が50°Cまで下がってから自動的に復帰します。過熱の恐れがある場合はラジエータを取り付けてください。
- 過電流(電流が高すぎるまたは電圧が低すぎる)の場合は、異常ランプO.Cが点灯します。モータの配線やその他の短絡等の異常、電圧が低すぎないかを確認してください。モータ配線やその他の短絡異常の場合は、その原因を取り除いてから電源を再投入してください。
- ドライバが通電中は緑のランプPWRが点灯します。
- ゼロ通過点で、TMランプはパルス入力時に点灯します。